

(様式3)

公共事業再評価調書

番号	道路—1		事業担当局課	道路局 建設課		
事業名	都市計画道路環状3号線(南戸塚地区 外2)			採択年度	昭和62年度	
施工場所	戸塚区戸塚町～汲沢町			経過年数	33年	
目的及び 事業概要	<p>目的</p> <p>都市計画道路環状3号線は、本市の幹線道路網の骨格となる環状道路の一つに位置付けられており、磯子区杉田五丁目から都筑区佐江戸町までの延長約28kmの重要な幹線道路です。本地区の完成により、国道1号と国道16号がつながることに加え、整備を進めている横浜環状南線(圏央道)の(仮)戸塚ICと接続することから、本市南部地域と湘南方面の連絡が強化され、交通便利性の向上や災害時の道路輸送の機能強化が図られます。合せて、交通の転換により周辺地域の住環境向上が図られます。</p> <p>なお、本事業の再評価は平成15年度に南戸塚地区を実施し、16年度に戸塚地区、19年度に汲沢地区と3地区ごとに実施しましたが、平成20年度より3地区まとめて実施しています。</p> <p>事業概要</p> <p>本線 : 計画延長 2,030m、幅員 22m (往復4車線)</p> <p>接続ランプ : 計画延長 540m、幅員 12.5m (往復2車線)、用地面積 65,686 m²</p>					
			当初 (事業採択時)	第2回 (平成24年度)	前回 (平成29年度)	変更 (令和元年度)
	事業期間		昭和62年度～ 平成27年度	昭和62年度～ 平成29年度	昭和62年度～ 平成35年度	昭和62年度～ 令和8年度
	事業費	合計	23,455百万円	26,011百万円	27,174百万円	29,335百万円
		国費	11,728百万円	13,006百万円	13,587百万円	14,668百万円
		市費	11,727百万円	13,005百万円	13,587百万円	14,667百万円
	変更内容		汲沢地区の国道1号上り線接続ランプ(支線2号線)は、その区域に存する管理型産業廃棄物最終処分場跡地を回避するため都市計画変更手続を行い、その線形を変更しました。そのため、新たに用地取得を行う必要があり、さらに、大型擁壁を設ける必要が生じたこと等により事業費が増額するとともに、事業期間を延伸しました。			
上位計画等		環状3号線の整備は、「横浜市中期4か年計画2018～2021」に掲げられた6つの戦略の中で、「未来を創る強靱な都市づくり～市民生活と経済活動を支える都市基盤～」に位置付けられており、市民生活や経済活動を支えるための政策「交通ネットワークの充実による都市インフラの強化」を達成する事業の1つとして期待されています。 また「横浜市地震防災戦略」では、緊急輸送路となる幅員18m(4車線相当)以上の幹線道路の整備を進めるとしており、市内陸部と臨海部との連絡を強化することにより、災害時における消火活動や救命活動、緊急物資の輸送機能を確保し、市民の安全性の向上を図ります。				
関連事業		横浜環状南線				

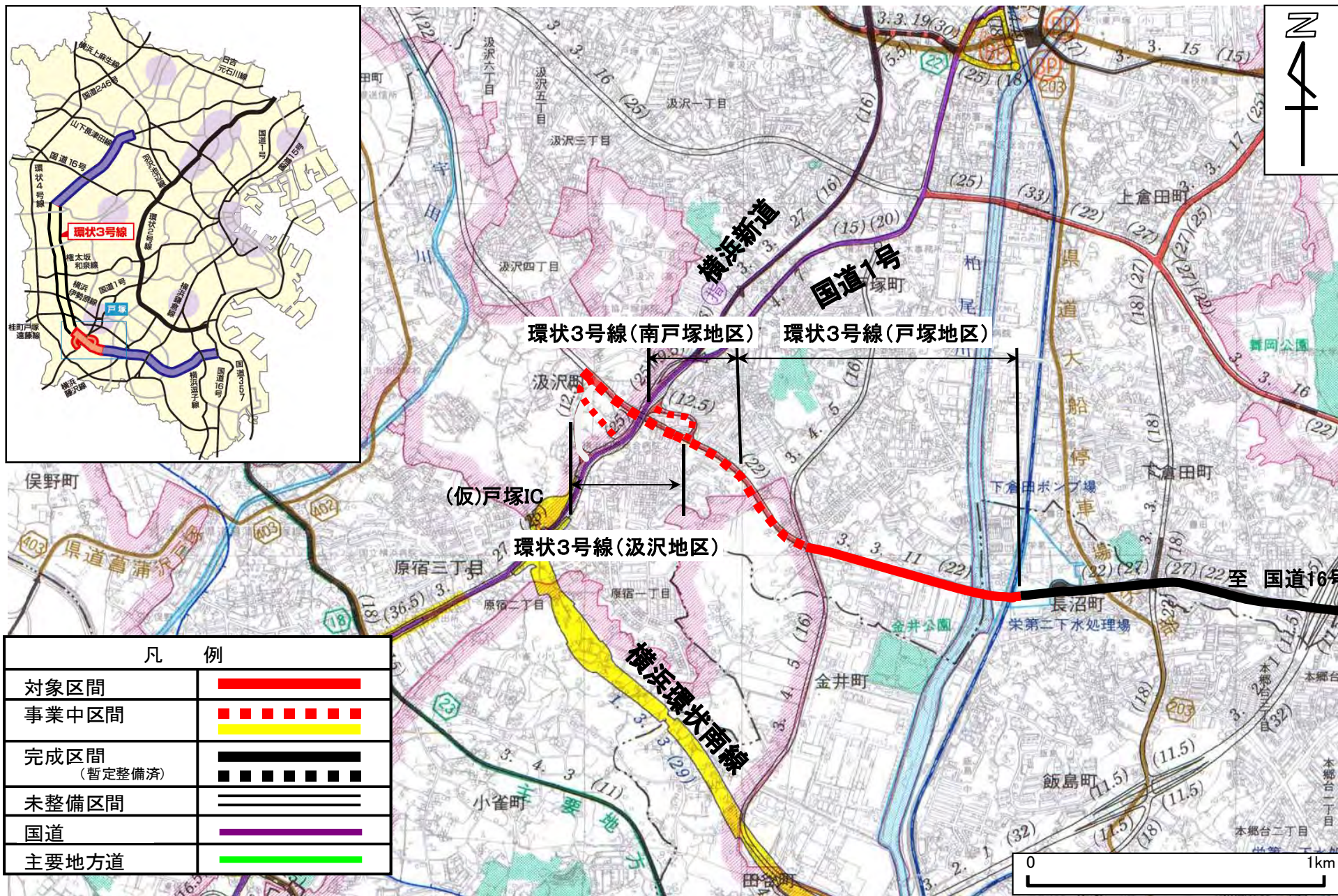
事業の 必要性	事業を巡る 社会経済情 勢等の変化	<p>国道16号と国道1号が本路線を介しつながることで、本市臨海部との連絡強化により、災害時の広域的な避難路・緊急輸送路としての機能が期待されています。</p> <p>また本路線は、整備を進めている横浜環状南線（圏央道）のICである（仮）戸塚ICにアクセスする路線であり、ICアクセス性の向上が期待されていることから、事業の必要性が高まっています。</p>		
	事業の 投資効果 ・ 事業効果等 (費用便益分析等)		事業全体	残事業
		割引率	4%	
		総便益(B)	972.5億円	476.3億円
		総費用(C)	490.0億円	58.4億円
		費用便益比 (B/C)	2.0	8.2
		感度分析 [交通量-10%]	1.3~2.2	5.2~9.3
	<p>[定性的効果]</p> <p>これまで住宅地域に入り込んでいた通過交通を本路線へ転換させることができ、住宅地域の住環境が向上するとともに、国道16号から国道1号までの本市南部地域の交通機能が強化されるとともに、災害時の緊急輸送路としての効果が期待できます。</p>			

事業の 進ちよく 状況	事業進ちよく率%	<p>令和元年度末までの事業進捗率は74%、用地取得率は80%となっております。</p> <p>平成16年7月に計画延長約2,570mのうち東側区間約850mを開通しています。</p> <p>残事業として西側1,720mの用地取得と整備があります。本事業で国道1号へ接続することで、本市南部地域の交通機能が強化され、これまでの事業効果を最大限に発揮することができます。</p>
	74%	
	用地取得率%	
	80%	
	供用等の状況	
	東側を供用済み	
事業の課題 及び進ちよく 見込み	<p>横浜環状南線の供用に合わせ事業を推進する中で、収用手続きにより平成29年度に用地取得が完了した、国道1号下り線までの区間について、早期に部分供用をする予定です。</p> <p>また、国道1号との立体交差部のトンネル施工検討及び、令和元年度に都市計画変更を行った上り線に接続する支線部の設計・調査や用地取得と並行しながら施工可能な部分の工事を進めます。</p>	

その他 (コスト削減項目等)	舗装、構造物の築造等については、設計の段階から可能な限り工事費の削減に努めるとともに、長寿命化の検討を行い、維持修繕が容易な構造とする等、維持管理費の削減に努めます。工事施工においても、建設発生土の工事間流用を行い、運搬費及び残土処分費のコスト削減を行うとともに、舗装、構造物の基礎等について再生材を使用する等、可能な限りコスト削減に努めます。	
その他	—	
添付資料	有 ・ 無	
対応方針	継続	計画通り(上記計画を実施)
		一部見直し(上記計画を変更)
	【見直し内容】	
中止		

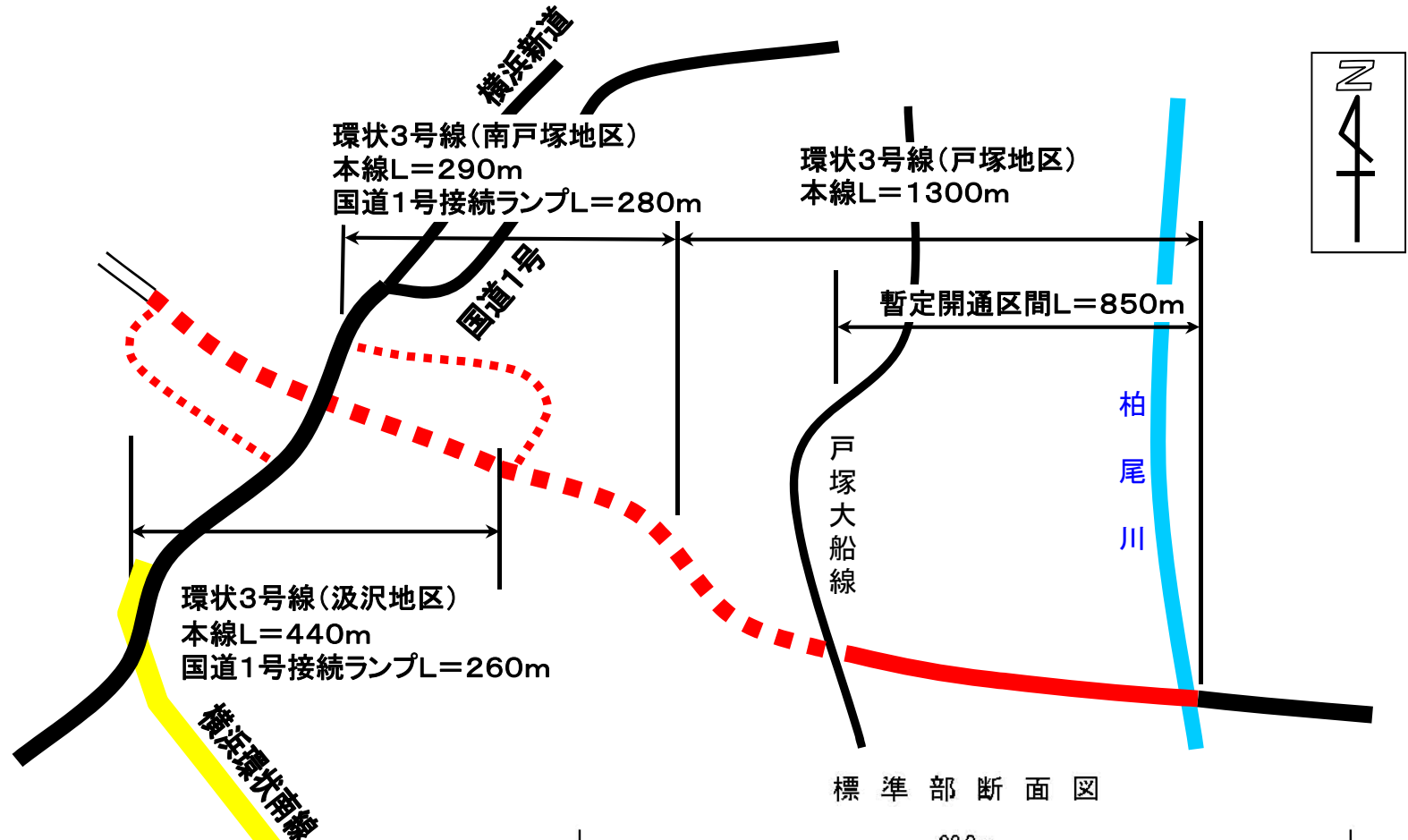
対応方針 とした理由	<p>現在、環状3号線は本市臨海部から本事業箇所までは、整備が完了していますが、湘南方面に連絡する主要道路に接続されていないため、整備効果が十分に発揮されていない状況です。</p> <p>そこで、本事業の実施により、国道1号に接続することで、本市南部地域の交通機能が強化され、沿道地域の活性化や物流の円滑化が期待されます。また、これまで周辺の住宅地域に入り込んでいた通過交通が環状3号線に転換することで、住宅地域における安全性や住環境が向上します。さらに、横浜環状南線（圏央道）の（仮）戸塚ICにアクセスする路線として、ICアクセス性の向上が期待されることから、事業を継続して実施する必要があると判断しています。</p>
---------------	--

都市計画道路環状3号線(南戸塚地区 外2)



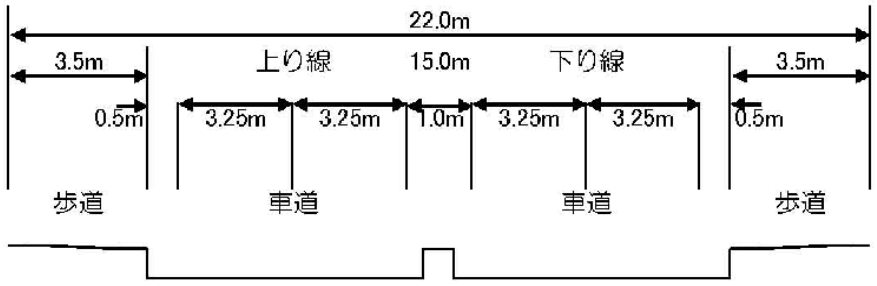
凡 例	
対象区間	
事業中区間	
完成区間 (暫定整備済)	
未整備区間	
国道	
主要地方道	

都市計画道路環状3号線(南戸塚地区 外2)



5

凡 例	
対象区間	
事業中区間	
完成(概成)区間	
未整備区間	



国道1号付近の計画・航空写真重ねイメージ



国道1号付近の完成イメージ



事業進捗状況

環状3号線（南戸塚地区 外2）

（単位：百万円）

年度	単年度事業費			累計事業費			事業進捗率			用地取得		
	合計	用地・補償	工事・委託	合計	用地・補償	工事・委託	合計	用地・補償	工事・委託	取得面積(m ²)	累計(m ²)	用地取得率
S62	390	380	10	390	380	10	1.3%	1.3%	0.0%	4,167	4,167	6.3%
S63	302	256	46	692	636	56	2.4%	2.2%	0.2%	1,499	5,666	8.6%
H1	915	880	35	1,607	1,516	91	5.5%	5.2%	0.3%	3,683	9,349	14.2%
H2	753	677	76	2,360	2,193	167	8.0%	7.5%	0.6%	3,658	13,007	19.8%
H3	307	56	251	2,667	2,249	418	9.1%	7.7%	1.4%	0	13,007	19.8%
H4	365	83	282	3,032	2,332	700	10.3%	7.9%	2.4%	126	13,133	20.0%
H5	530	218	312	3,562	2,550	1,012	12.1%	8.7%	3.4%	518	13,651	20.8%
H6	808	460	348	4,370	3,010	1,360	14.9%	10.3%	4.6%	1,381	15,032	22.9%
H7	1,342	866	476	5,712	3,876	1,836	19.5%	13.2%	6.3%	2,906	17,938	27.3%
H8	1,269	1,036	233	6,981	4,912	2,069	23.8%	16.7%	7.1%	3,054	20,992	32.0%
H9	1,241	906	335	8,222	5,818	2,404	28.0%	19.8%	8.2%	1,055	22,047	33.6%
H10	956	593	363	9,178	6,411	2,767	31.3%	21.9%	9.4%	3,113	25,160	38.3%
H11	1,796	1,216	580	10,974	7,627	3,347	37.4%	26.0%	11.4%	3,016	28,176	42.9%
H12	1,367	430	937	12,341	8,057	4,284	42.1%	27.5%	14.6%	2,367	30,543	46.5%
H13	586	114	472	12,927	8,171	4,756	44.1%	27.9%	16.2%	682	31,225	47.5%
H14	1,272	803	469	14,199	8,974	5,225	48.4%	30.6%	17.8%	2,980	34,205	52.1%
H15	656	112	544	14,855	9,086	5,769	50.6%	31.0%	19.7%	358	34,563	52.6%
H16	563	245	318	15,418	9,331	6,087	52.6%	31.8%	20.7%	927	35,490	54.0%
H17	597	173	424	16,015	9,504	6,511	54.6%	32.4%	22.2%	504	35,994	54.8%
H18	265	58	207	16,280	9,562	6,718	55.5%	32.6%	22.9%	144	36,138	55.0%
H19	244	2	242	16,524	9,564	6,960	56.3%	32.6%	23.7%	0	36,138	55.0%
H20	104	38	66	16,628	9,602	7,026	56.7%	32.7%	24.0%	85	36,223	55.1%
H21	326	181	145	16,954	9,783	7,171	57.8%	33.3%	24.4%	2,892	39,115	59.5%
H22	686	352	334	17,640	10,134	7,505	60.1%	34.5%	25.6%	3,672	42,787	65.1%
H23	1,317	1,213	104	18,957	11,348	7,609	64.6%	38.7%	25.9%	3,874	46,661	71.0%
H24	632	30	602	19,589	11,378	8,211	66.8%	38.8%	28.0%	3,378	50,039	76.2%
H25	414	1	413	20,003	11,379	8,624	68.2%	38.8%	29.4%	8	50,047	76.2%
H26	154	39	115	20,157	11,418	8,739	68.7%	38.9%	29.8%	223	50,270	76.5%
H27	27	0	27	20,184	11,418	8,766	68.8%	38.9%	29.9%	1,244	51,514	78.4%
H28	6	0	6	20,190	11,418	8,772	68.8%	38.9%	29.9%	0	51,514	78.4%
H29	222	94	128	20,412	11,512	8,900	69.6%	39.2%	30.3%	1,003	52,517	80.0%
H30	286	74	212	20,698	11,586	9,112	70.6%	39.5%	31.1%	66	52,583	80.1%
R1	917	52	865	21,615	11,638	9,977	73.7%	39.7%	34.0%	0	52,583	80.1%
合計	21,615	11,638	9,977							52,583		

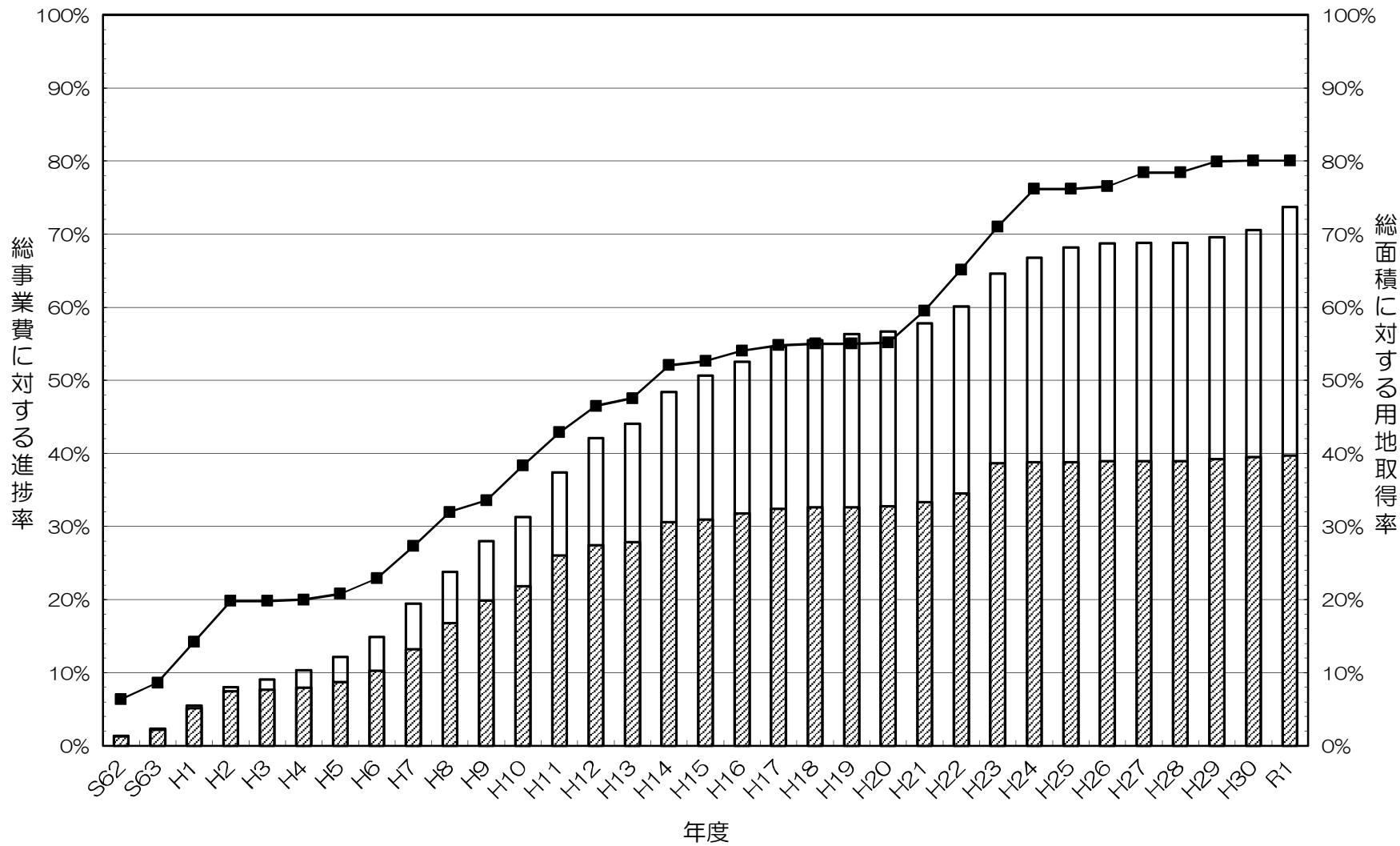
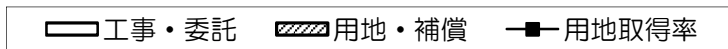
※1 事業進捗率（合計）は全体事業費（様式3参照）に占める各年度までの用地補償費と工事委託費の和

※2 事業進捗率（用地補償、工事委託）は全体事業費に占める各年度までの用地補償費もしくは工事委託費の割合

※3 用地取得率は事業全体の取得面積（様式3参照）に占める各年度までの取得面積の割合

事業進捗状況

環状3号線（南戸塚地区 外2）



前回再評価内容との比較 環状3号線（南戸塚地区 外2）

	前回（H30）	今回（R2）	2年間の経過
事業を巡る社会経済情勢等の変化	本路線を介し、国道16号と国道1号が接続されることで、本市臨海部との連絡強化により、災害時の広域的な避難路・緊急輸送路としての機能が期待されています。また本路線は、横浜環状南線（圏央道）のICである（仮）戸塚ICにアクセスする路線であり、ICアクセス性の向上が期待されていることから、事業の必要性が高まっています。	横浜環状南線（圏央道）の新たな開通年度が公表され、（仮）戸塚ICにアクセスする本路線整備の必要性がさらに高まっています。	広域的な避難路・緊急輸送路の機能強化及び横浜環状南線の（仮）戸塚ICへのアクセス性向上が期待される環状3号線整備の必要性が高まっています。
事業進捗率	70%（75%）	74%	+4%
用地取得率	80%（88%）	80%	±0%
供用等の状況	暫定開通区間約850m	暫定開通区間約850m	—
事業の進捗見込	横浜環状南線の供用に合わせ事業を推進する中で、収用手続きにより平成29年度に用地取得が完了した、国道1号下り線接続までの区間について、早期に部分供用をする予定です。また、国道1号との立体交差部のトンネル施工検討及び、上り線に接続する支線部にある管理型産業廃棄物最終処分場跡地の検討を行い、用地取得と並行しながら施工可能な部分の工事を進めます。	用地取得の完了した国道1号下り線接続までの区間については、早期の部分供用を目指し工事を進めます。また、国道1号立体交差部のトンネル施工に対する具体計画検討を行い、国道1号上り線に接続する支線部については、設計・測量等調査と並行して用地取得を進めます。	国道1号上り線に接続する支線部について事業検討を行った結果、管理型産業廃棄物処分場跡地を回避する線形に変更し、その都市計画手続を令和元年度に完了しました。また、戸塚地区においては、橋梁下部工や擁壁工事を完了し、橋梁上部工や街路築造工事を進めています。

前回委員会での主な意見等	特になし
--------------	------

※前回再評価から全体事業費が変更されている場合、前回時点での事業進捗率が変化してしまうため、参考として前回使用した事業進捗率を（ ）で示した。